



平成30年2月8日

山口市長 渡辺純忠様

山口市総合計画策定協議会
会長 田中和広

第二次山口市総合計画の策定について（答申）

平成28年6月3日付け企第30号で諮問のありました第二次山口市総合計画の策定について、慎重に審議を重ねた結果、別紙「答申書」のとおり答申いたします。

記

- 1 答 申
別紙「答申書」のとおり

- 2 参考資料
第1回山口市総合計画策定協議会から第7回山口市総合計画策定協議会までの会議資料及び会議録

第二次山口市総合計画

答 申 書

平成 3 0 年 2 月 8 日

山口市総合計画策定協議会

答 申

本協議会は、平成28年（2016年）6月3日に「第二次山口市総合計画の策定」について諮問を受け、これまで7回の協議会を開催し、本市の現状と課題、目標とする将来都市像、目指すべき都市構造、重点プロジェクトなどについて、慎重に審議を行ってまいりました。第二次山口市総合計画（最終案）については、これまでの審議内容を十分に反映したものであり、適切であると認め、下記の意見を付して答申します。

記

1 「本市全体の発展」について

第二次山口市総合計画においては、「本市全体の発展」を目指すことを明確にされています。

また、本市全体の発展に向けて、都市部も農山村も共に発展するまちづくりを目指すことを掲げられ、都市拠点については、山口都市核と小郡都市核の特長に応じた発展の方向性を明確にされ、両都市核の活力の向上、本市全体の経済発展、生活関連機能サービスの向上につなげることでされています。また、地域拠点については、地域のことは地域で解決できる山口市らしい地域内分権を確立することで、市内21の地域で自主性や権限を持った、温かみのある地域づくりが可能となる体制をつくることを明らかにされています。

広大な市域を有する本市において、一極集中のまちづくりではなく、都市拠点や地域拠点ごとに機能分化や個性特化をしていくまちづくりが、本市全体の発展につながるという「好影響・好循環」の対流型のまちづくりの考え方を、次なる10年間の本市のまちづくりにおける市民の共通理念とされることにつきまして、高く評価いたします。

こうしたことから、まちづくり政策の柱として、「広域県央中核都市づくり」と「個性と安心の21地域づくり」を位置づけられることは、適切であると考え、その関連施策を確実に推進されるようお願いいたします。

2 「これが私のふるさと」について

本協議会で検討した「ふるさと」は、市民・地域・事業者・行政等の協働のもとで、自分たちで共に創り上げるもの、そして、温かくて、帰って来たくなるものであると考えました。

こうした中で、本総合計画においては、共通の指針として「これが私のふる

さとだ」を、将来都市像の一節に掲げられており、市民一人ひとりのまちへの関わりのもとで、まちづくりに携わる実感が生まれ、ふるさとへの誇りや愛着を育てていくようなまちを創造していかれることに、期待をしています。

この共通の指針のもとで、地域や市民が、自分自身の「ふるさと」を、自ら考え、行動し、「一歩前へ」進めることができる、挑戦することができる環境づくりが必要であると考えます。また、行政も、協働のまちづくりのもとで、これまで以上に挑戦し、地域や市民と共に汗をかき、職員一人ひとりの能力・資質向上に努めていただくことを期待します。

そのため、「ふるさと」である地域の現場が、十分な自主性と権限を有する中で、自らの地域資源を発掘し、フル活用するとともに、人材が活躍できる、個性ある21の地域づくりを着実に進めていただきたいと思います。すなわち、本市全体の発展は、21の地域の個性的なまちづくりの延長上にあり、「好影響・好循環」の対流型のまちづくりとしての21の地域連合体をかたちづくることを、地域づくりの基本的な方向性としていただきたいと考えます。

また、総人口や生産年齢人口が減少していく中で、AIやIoTといった新技術の導入も含めて、働き方改革を進め、若者、女性、高齢者、障がい者をはじめとした多様な人材が活躍できる環境づくりを進め、地方創生に携わる人材育成を図るとともに、本市の歴史文化資源をまちづくりに生かすことで、本市全体の生産性や創造性を高める取組を進め、さらに、空き家対策や移住定住の促進など、「ふるさと」を守る施策展開も図っていただきたいと考えます。

むすびに

本市が直面する人口減少と少子化、高齢社会の進展、そして中長期的な財政規模の縮小を見据える中であって、総合計画を「絵に描いた餅」に終わらせないよう、実効性のある計画推進が重要となります。

本協議会においてこれまで出された意見や提案などを踏まえ、行政計画である前期基本計画における8つの重点プロジェクト、そして、5つの政策の取組を、健全な財政運営を保ちながら、確実に推進されることを期待します。また、市民の共通指針である総合計画であるため、わかりやすい表現や用語を使用されるとともに、計画の達成状況を市民に周知していただきたいと思います。

「将来を担う子どもたちに誇れるようなまち」、「暮らしやすいまち」をオール山口市で創り上げていくことができる第二次山口市総合計画としていただきますことを切にお願いします。